

いきいき前橋っ子 はぐくみプラン

抜粋版

平成 20 年 5 月策定
平成 22 年 5 月改訂
平成 25 年 4 月改訂
平成 30 年 4 月改訂

人間性豊かな 青少年

自ら進んで
行動する青少年

互いのよさを
認め合う青少年

地域をよりよく
しようとする
青少年

地域を誇りに
思う青少年

自信

自己肯定感

生きる意欲

『子供をお客さんにしない』

(自分で考え判断し、行動できる子へ)

子供が主役になる場をつくりましょう

子供の
実体験の場をつくりましょう



家庭

学校



地域



子供が人や地域の役に立てる場をつくりましょう

子供が様々な人と関わる場をつくりましょう

● 市民運動の展開テーマ ●

子供の主体性を育てる体験活動を充実させましょう

様々な活動を通して、子供に家庭や地域での役割と責任を自覚させ、
自主・自律に向かう姿勢を育てることに視点を当てて市民運動を展開します。

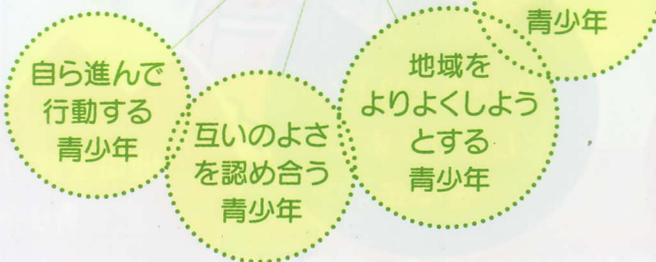
前橋市教育委員会

保護者のみなさんへ

あたたかく育てよう 明日を担う前橋っ子

家庭は
子供の心の第一のよりどころです。
子供と向き合い、

人間性豊かな青少年 を育む
家庭教育を推進しましょう。



子どもを育てるポイント

1 子供の意思や自主性を尊重し、自立心を育てましょう

- 子供の考えをよく聞き、子供の思いを生かせるようなアドバイスをしましょう。
- 子供ができることは子供に任せ、やりとげたときには認めたりほめたりしましょう。
- 子供が自分の意思で決断し行動できる、自己決定の場を与えましょう。

2 相手を思いやるやさしい心を育みましょう

- さわやかなあいさつ、やさしい声かけを心がけ、明るくあたたかい家庭をつくりましょう。
- 保護者が進んで身近な人を大切に、あたたかく人と接する姿を子供に見せましょう。
- 子は親の鏡。穏やかな心で子供に接し、たくさん愛情を注ぎましょう。

3 親子の共同体験や豊かな実体験の機会を増やしましょう

- ゲームやパソコン、スマホから離れ、親子のコミュニケーションの時間を大切にしましょう。
- 家族の一員として子供に家の手伝いをさせ、やり遂げた充実感と人の役に立つ喜びを味わわせましょう。
- 飼育や栽培などの自然体験、スポーツ体験や文化体験など、子供に様々な経験をさせましょう。

4 地域の行事やボランティア活動に参加しましょう

- 世代を超えて様々な体験のできる地域行事に家族で積極的に参加しましょう。
- 子供にボランティア活動を体験させるなど、主体的に社会に関わろうとする気持ちを育てましょう。

地域のみなさんへ

地域のみなで育てよう 明日を担う前橋っ子

わたしたちのふるさと前橋の
明日を担う青少年を、
地域のみなさんで育てていきましょう。
家庭や学校とともに、

人間性豊かな青少年 の育成を
目指しましょう。

自ら進んで
行動する
青少年

互いのよさを
認め合う
青少年

地域を
よりよくしよう
とする
青少年

地域を
誇りに思う
青少年



子どもを育てるポイント

1 子供の体験活動を後押ししましょう

- 地域の様々な活動に積極的に参加し、子供の体験的な活動を支援しましょう。
- 子供の活動の中に、自ら考え判断する場面を設け、より主体的に取り組めるようにしましょう。
- 今ある地域行事に子供の活躍の場がないか、計画や実施方法を見直してみましょう。

2 子供との心の交流を図りましょう

- 地域の子供に積極的に声をかけたり、あいさつを交わしたりしましょう。
- 様々な行事での世代を超えたふれあいを通して、子供の豊かな心を育みましょう。
- 大人が自らの行動で模範を示し、子供にとって信頼される大人を目指しましょう。

3 地域のつながりを深めましょう

- 地域の子供は地域で育てるという意識をもち、子供の健やかな成長を見守りましょう。
- 子供と大人の世代間交流、大人どうしの交流を深め、まとまりのある地域をつくりましょう。
- 子育て世代の悩みを共有できるような、開かれた風通しのよい地域づくりに努めましょう。

4 子供に地域のよさを伝えましょう

- 古くから伝わる伝統行事を子供に体験させ、地域を大切にすることを育てましょう。
- 地域の歴史や文化、芸能や昔の遊びなど、その価値や楽しさを子供に伝えましょう。

学校教育での取組

● スローガン

多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供を育てます。

取組の重点

まえばし学校教育充実指針（夢や希望を育む学校文化の創造）より

学校力を高める
学校経営を
目指します

魅力あふれる
教育活動を
展開します

家庭・地域とつながる学校づくりを推進します

「人間性豊かな青少年」という観点からの取組



子供が主役になる場をつくるために

- 一人一人が生き生きと学び、互いに認め合ったり協力し合ったりする、居心地のよい集団形成を目指します。
- 児童生徒が企画・運営をする児童会・生徒会活動の工夫や、児童生徒が活躍する学校行事の充実に努めます。



子供の実体験の場をつくるために

- 学ぶことの楽しさや成就感を体得できるよう、実際にものを作ったり実物に触ったりする学習を推進します。
- 自己有用感や達成感をもてるよう、集団の中で自分の立場や役割を自覚し、最後まで粘り強くやり抜く場面を設けます。



子供が様々な人と関わる場をつくるために

- PTAと協働した親子行事や学校公開など、地域の大人と関わり、つながる機会を増やします。
- 社会性や豊かな人間性を育めるよう、通常の学級と特別支援学級や特別支援学校との交流活動の充実に努めます。



子供が人や地域の役に立てる場をつくるために

- 一人一人に活躍の場を与えて、見守り、やり遂げた達成感を味わわせます。
- 児童生徒が学級や学校、地域の役に立ち、自信や自己有用感を高めるために、ボランティア活動の充実を努めます。